

第26回 第三者委員会 議事録

1. 日時 : 平成25年7月26日(金) 14:00~16:00
2. 場所 : 一般財団法人家電製品協会 第3会議室
3. 委員の現在数 : 3名
4. 出席者と人数 : 細田委員長、石川委員、辰巳委員 以上3名出席
その他家電製品協会 事務局6名が陪席
5. 議題 : ①平成24年度離島対策事業協力の評価の審議
②本年度における平成22~24年度不法投棄未然防止事業協力の評価基準の審議
6. 配布資料 : 資料1 平成24年度離島対策事業協力の評価関連資料一式
資料2 本年度における平成22~24年度不法投棄未然防止事業協力の評価基準関連資料一式

7. 議事の内容

<主な質疑・意見>(◇は委員からの質問・意見、◆は事務局からの説明等)

①平成24年度離島対策事業協力の評価について

- ◆ 離島対策事業協力実施要項第18条第1項の規定に基づき、協力覚書に係る離島市町村(市町村数は15)が行った当該覚書に規定する輸送事業及びその成果等について、地域ごとの個別評価案及び総括的なとりまとめ案の説明を行った。
- ◇ 総括的なとりまとめの案のうち、一部文章及びグラフについて、より適切なものに修正することを求めた。
- ◇ 審議の結果、当該評価について提案に上記の修正を加えた上で、これを一般財団法人家電製品協会のホームページに掲載する方法で公表することとした。

②本年度における平成22~24年度不法投棄未然防止事業協力の評価の基準について

- ◆ 不法投棄未然防止事業協力実施要項第18条第1項の規定に基づき、協力覚書に係る市町村が行った当該覚書に規定する事業及び当該事業による成果についての評価に関して、市町村ごとの個別評価及び総括的なとりまとめそれぞれを次の内容にて行うことを提案した。
 - ・ 平成22年度事業については、平成24年度不法投棄実績に対する影響度を評価する。なお、影響度が大きいと考えられる平成23、24年度の両方もしくは片方の年度において事業協力未実施の市町村の場合は、当該市町村に対して当該年度における自主事業の実施状況及びその成果等についてその内容を加味して評価を行うこととする。そのため今回は、新たに平成24年度の自主事業について、対象の市町村に対して報告を求めることとする。
 - ・ 平成23年度事業については、応募申請書にて申告された平成24年度不法投棄削減見込みに対する達成状況を評価する。
 - ・ 平成24年度事業については、防止事業と引渡事業の実施状況及び両事業の相乗効果並びに計画との乖離状況、合わせて、応募申請書にて申告された平成25年度不法投棄削減見込みに対する上半期(平成24年4~9月)の推移状況を評価する(中間評価)。
 - ・ 平成22~24年度事業実施による不法投棄実績推移状況について評価する。
 - ・ 特定廃棄物と一般廃棄物との不法投棄量の相関関係について考察を行う。
- ◇ 審議の結果、提案どおり決定した。

以上